



川越子ども応援パントリー

# 活動紹介

①フードパントリー

②学習教室・子どもの居場所「てらこや」、

まごころユースプレイス

③イベント運営

最明寺



本応寺



まごころレジデンス



# フードパントリーの運営

フードパントリー 奇数月 最明寺・偶数月 本応寺



# コミュニティ指向 → イベント・お寺カフェ・スタッフ勧奨



# コラボイベント・コンサートなど



# プチパントリークラブ



# 学習教室・子どもの居場所

「てらこや」

毎週月曜日

最明寺

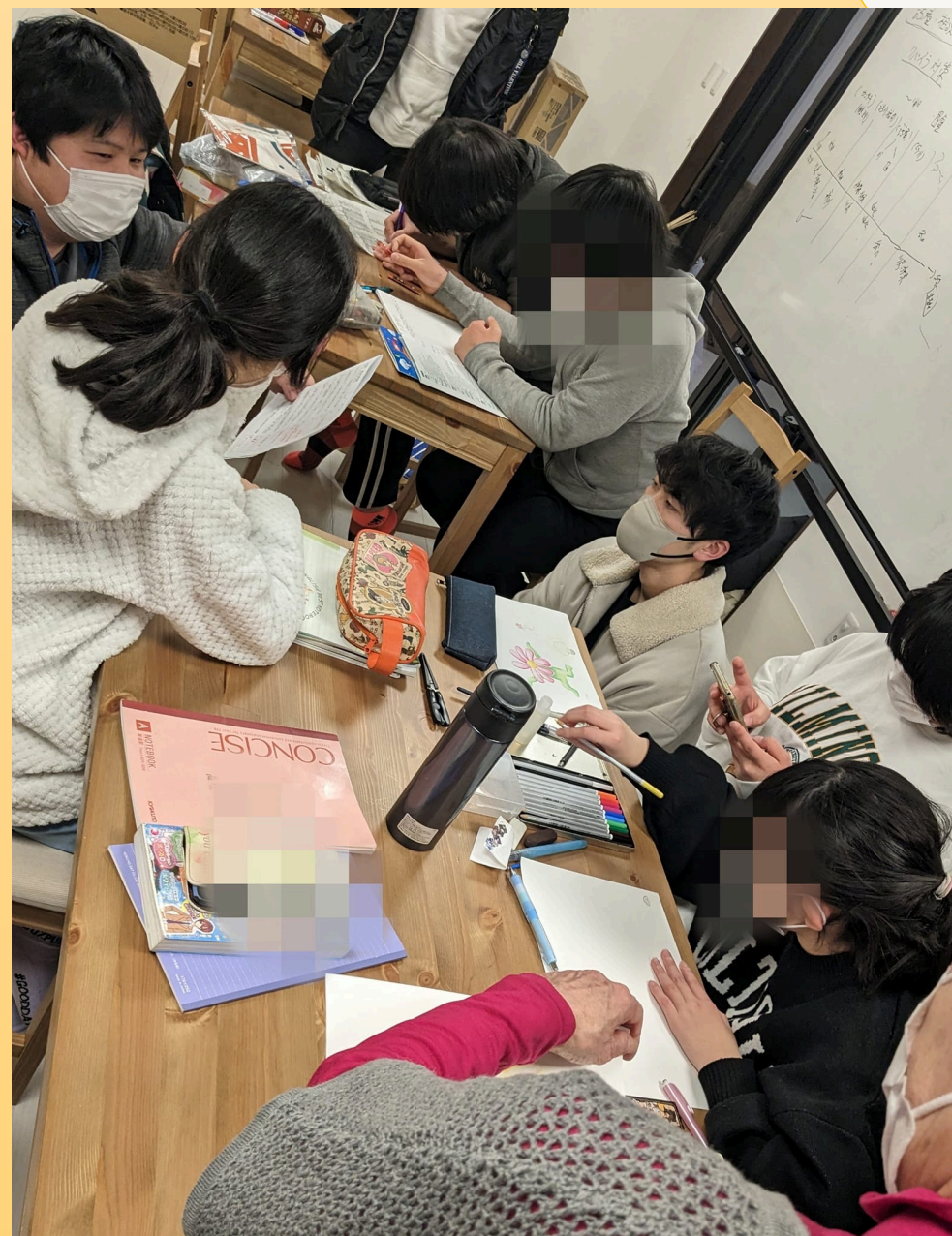
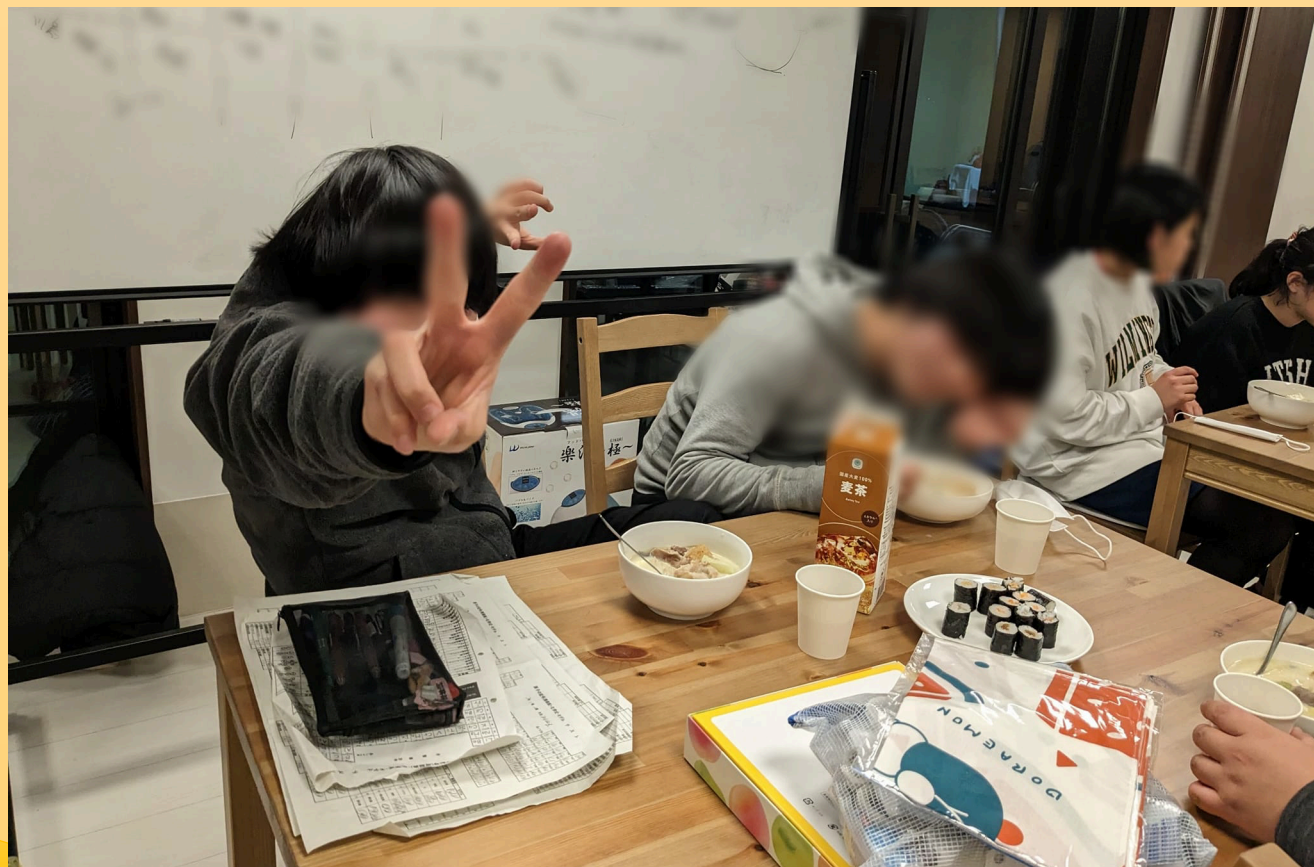
毎週木曜日

本応寺



# 「まごころユースプレイス」

子ども・若者の居場所であり学習教室  
でもある支援拠点  
毎週火曜日開催





# 「体験増進事業」の充実

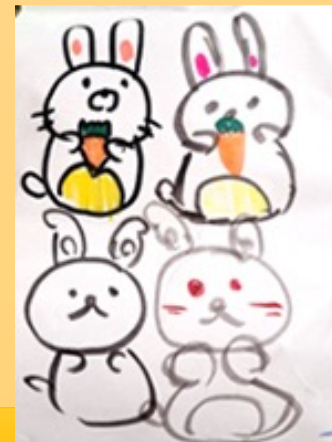
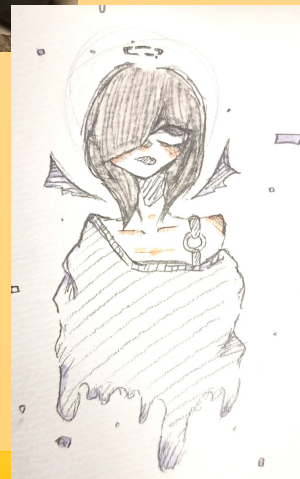
日常的な学習教室と相まって、美術館、さきたま古墳群、さいたま水族館見学ツアー、夜祭り探訪、お泊まりてらこや、など



# 「てらこや」の充実

## ● 音楽てらこや開始

## ● 美術教育の拡充



# 困難を抱える子の受け入れ拡大

- 不登校
- 軽度の障害
- 家庭状況



# 見守り事業

【 日常の活動の中で

日常の活動の中から

必要に応じた見守り支援



# たとえば・・・フードパントリー会場で

- お寺カフェでの雑談
- コロナ感染でパントリーに  
これない家庭への個配
- 個別相談  
→必要に応じた個別支援



**コミュニケーションを密にして状況把握**

たとえば・・・てらこや、  
まごころユースプレイスで

子どもの長期見守り

+

ご家庭への支援



# 事例 1

① 2020年春頃から  
フードパントリーに利用登録。



② イベント参加をきっかけに、子どもが  
てらこやへ通うようになる。



③ 2021年2月緊急パントリー開催時、  
「失業した」との相談、社協につなぐ。



# 事例 1

④ てらこやの送迎の度に生活状況につき聞き取り。



⑤ 仕事の都合でX市に転居。  
X市のパントリー団体へつなぐ。





# 事例 1



⑥ 季節のイベントに招待、  
親子で参加。見守りを継続。



## 事例 2

① 2022年春頃、埼玉県より食料支援依頼あり。



② 電話をかけ詳しく状況確認、利用登録していただく。

- ・ 本人は疾患と虚弱
- ・ お子さんは自身への葛藤と大学卒業問題を抱える。



## 事例 2



③車がないので、自転車に来るが、体調が悪いと来ることができない。

→定期的に見守りの為、  
電話・宅配など支援。

## 事例 3

①川越市より食料支援の依頼。



②電話をかけ、詳しく状況確認。  
利用登録していただく。



③数日後、緊急食料支援とともに  
お寺で詳しくお話を聴く。

- ・生活苦の原因と脱却のための方策

## 事例 3



④ 短期間数度にわたり緊急食料支援として  
個配。



⑤ パントリー開催時にも来寺。



⑥ 弁護士さんとお寺で面談。  
今後について協議。

## 事例4 Dさん（高校1年生の学齢）

①2023年初頭、川越市教育委員会の  
機関より学習支援依頼。

・高校再受験問題



②教室での学習支援、本人からの聞き取り

・家庭での生活状況など。



## 事例4 Dさん（高校1年生の学齢）



③ 数度にわたりオプションで個別指導  
（過去問、面接等）

・その際も雑談の中から状況把握



④ 高校合格